

2020年4月1日発行（春号）

No.65

会報 いずこうげん

目次

- 一碧万頃・海に魅せられて・・・2・3
- メガソーラーの現状・・・4
- 防災訓練を実施して・・・5
- 伊豆高原ウォーキングの会・・・6
- 親和会部会報告・・・7
- 親和会情報・・・8

伊東温泉竹あかりと東海館



伊豆高原親和会

静岡県伊東市八幡野1208-95 TEL(0557) 53-1122 FAX(0557) 54-4222

海に魅せられて

週末にはダイバーで賑わう城ヶ崎海岸駅近くに居を構えたのは、十年前。転勤族の私達は月に二、三回、海の無い岐阜県から車で片道五時間をかけ、限られた時間の中でのもんびりと海中散歩を楽しんできました。夫婦の共通の趣味はスキューバダイビング。

旅行先のグアムで体験ダイビングをしたのをきっかけに、三十年間、唯一続いている楽しみです。そして今年遂に永住しました。



二〇一九年

一月 伊豆大島より昇る初日の出を拝み。

二月 城ヶ崎海岸の生みの親ともいえる四千年前の噴火により出来た大室山の山焼きの迫力を熱く体感。

三月 自宅で採れた大好物の蔦の蕾を食し、満開の桜のトンネルを通り抜け。

四月 断層がずれたことにより出来た、別名「伊豆の瞳」の八丁池を周遊。

五月 「伊豆高原五月祭」アートと暮らして新緑の自然に触れ巡り。

六月 幻想的に乱舞する蛍の光の優雅さに時を忘れ。

七月

のんびりじっくり、ホームグランドの伊豆海洋公園ダイビングセンターでスキューバダイビングを開始。

ここは、レジャーダイビングの発祥の地。

一九六四年設立し、大都会に極めて近い、世界で稀なダイビングスポットですが、私達は、家からすぐにビーチエントリーする事が出来るのです。海の中は、大室山から流れ出た溶岩と、白い砂地からなるダイナミックな地形が広がっていて、夏から秋にかけては南の海からやって来るカラフルな魚たちで賑やかになります。



八月



※スキューバダイビングは家での練習を繰り返して空気を含めたタンクを使って潜水するスポーツ。
アフターダイブは家で温泉と一息！

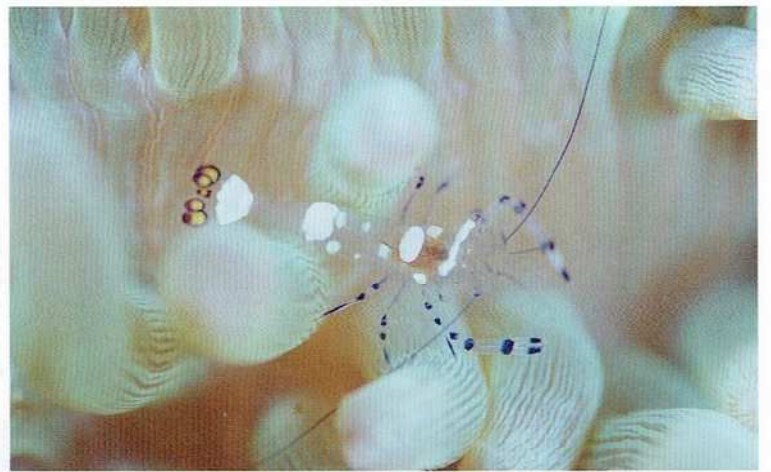
世界自然遺産「小笠原」憧れの地へ。

東京竹島桟橋から南に一〇〇km片道二十四時間の船旅。別名「東洋のガラパゴス」と呼ばれ、何処迄も濃く深く透き通る、熱帯魚&大型の魚の回遊などダイナミックな海。IIボニンブルーの海で地球の仲間達との遊びを満喫しました。

一碧万頃



※ポニール小笠原諸島の英名で日本語の無人島ぶじんじまに由来。
小笠原諸島は二〇一六年世界遺産に登録。空港が無い為、交通手段は船のみの秘境島。
一人二〇kg以上のダイビング器材を持ち出発。行の船は、台風の影響でとても揺れ、酔いした事が無い私でも辛かったです。台風後の天気は快晴、連日晴れで海況も良好。

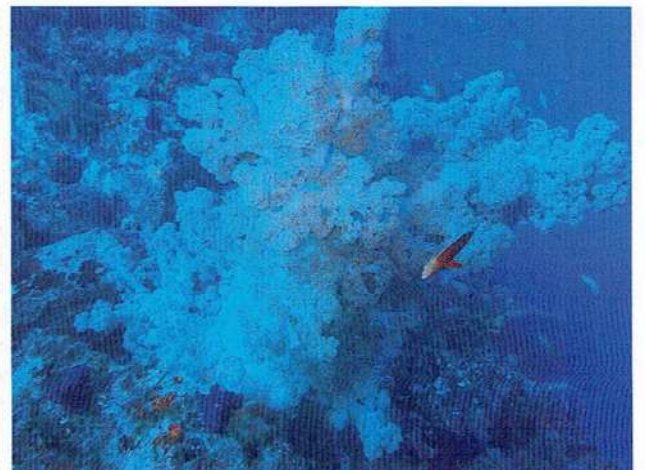


(ダイビング日記IIログブックを紹介します)
小笠原嫁島マクロ穴 巨大イソマグロの群れが目の前で回遊。海中では主役は魚。私達ダイバーは海の岩場に貼り付き、イソマグロの泳ぎの邪魔にならない様に潜水。その他ネムリブカ&マダラエイ&カッポレ
小笠原諸島 鹿島 サン
ドタイガーシャーク (別名シロワニ)
※ワニ鯨

その他 ユウゼン&ロウニンアジ&アカイセエビ 絶景の扇島(楽園の隠家の様な景色)へ上陸。満天の星空下、幻想的な緑の光を放つ茸IIグリーンペペを観察。アオウミガメの産卵に立ち会い、夢のような八日間を過ごしました。



九月 台風十五号通過。偉大なる自然の猛威を痛感。
十月 台風十九号も上陸。
十一月 庭のシンボルツリーを自力で伐採。素人の私には、ほぼ命がけの作業。不本意にも自分で木々を伐採することになるとは・・・。



十二月 憧れの地で海の恵みを楽しみ、自然の力の果てしない大きさを体感し、あたたかい地元の人々に助けて頂き、おかげさまで、伊豆での生活を満喫しています。これからも沢山の思い出を作りながら、日々重ねてゆきたいと思っています。

第四地区

市村 裕・三千代

※一碧万頃 読み方 いっぺき ばんけい 意味 海や湖がどこまでも広がっている様子。「一碧」は見える範囲の全てが青色一色に見えるということ。「万頃」の「頃」は面積の単位で、「万頃」は非常に広いことのとえ。

伊豆高原メガソーラーの現状

昨年夏以降、八幡野の伊豆メガソーラー合同会社の建設工事は、ほとんど進んでいません。県が林地開発許可に付した条件への違反があるとして、事業者を指導し、防災工事をさせていましたが、最近ではその工事も行っていない状況で、現場管理責任者の不在が続いています。しかし、これまで入口周辺を中心に樹木の伐採や土地の造成などが行われているため、台風や豪雨の時には八幡野川流域への土砂の流出が懸念されるので、防災のためには現場を放置させてはなりません。



八幡野の森に隣接する山の土砂崩れで水没した水田

伊東市の河川占用不許可処分で八幡野川に橋を架けられず、大型重機を搬入できない現状では、今以上の開発工事が進むとは考えられません。宅地造成許可や林地開発許可は下りたままであるので、工事再開は可能です。最終的に事業をやめさせるために、現在、住民による工事差止請求と宅地造成許可の取り消し請求の二つの裁判が進行しています。他方では、事業者が河川占用不許可処分の取り消しを求めて裁判を起しています。これらの裁判には一定の時間がかかるものと思われます。

緑豊かな八幡野の森は伊豆高原の財産ともいえ、貴重な動植物の生息地域ともなっています。最近では、台風や豪雨によって近辺の山地でがけ崩れや土石流が起っています。昨年の秋の台風時には、池地区で洪水を引き起こし、対馬地区での停電や断水被害の原因ともなりました。大室山、矢筈山、遠笠山、伊雄山の火山噴出物のつもり重なった池や八幡野、赤沢の地域ではこうした災害の発生がこれからも懸念されています。このような土地で、森林を伐採し、大規模な土地造成を行うことは、こ



れまでの自然の微妙なバランスで保たれていた水の流れや地盤保持の仕組みが崩れてしまうことは必至です。表面的には沈静化している伊豆メガソーラー建設ですが、裁判を通じて工事を中止させるべく、最後まで見届けていきたいと思っています。



【夢プロジェクト】の活動

伊東市は総合計画のなかで「ずっと住みたい また来たい 健康保養都市 いとう」を将来像として掲げています。これを受けて、私たち親和会としても「ずっと住み続けたい伊豆高原」を目指して活動していくことが重要だと考えています。「住んでみたい、住み続けたい」まちであるための要素は多様ですが、親和会は、伊豆高原の財産である自然や環境を守っていくために必要な事項を自主規制として定めています。加えて、住み続けたいと思うような人のつながり、お互いが顔なじみになって支えあっているようなコミュニティづくりも一つの課題としてとらえて、これを進めています。こうした「住み続けたい伊豆高原」づくりに寄与することはないだろうかと考えるのが【夢プロジェクト】の役割です。

【夢プロジェクト】は、理事長を座長として役員OB有志によって構成されています。親和会の中だけではなく、伊東市との協働を意識して様々なプランを検討しています。現在は、具体的な取り組みとしての次の三つのプロジェクトを展開しています。

地域防災訓練を実施して

昨年秋の台風十五号と十九号によって、伊豆高原地域ではこれまで経験したことのないような大きな被害が発生しました。これまでの防災訓練は、火事や地震を想定して実施してきましたが、昨今の気象の変化を考慮すれば、今後は気象要因も含めて、大災害が発生する事態を想定した防災体制を構築していく必要性を痛感させられました。親和会自主



防災会でも、どのような事態の時に災害対策本部を設置するか、などの体制構築について検討していかなくてはならないと考えます。

昨年十二月一日、伊東市の地域防災訓練が「防災力 人の輪 知恵の輪 地域の輪」というスローガンのもと、市内全域で実施され、親和会も従来通り第一、第四地区で、各々参加しました。親和会では、相模トラフを震源域とする第四次地震被害

想定「レベル2の地震」の発生を想定した訓練を行いました。伊東市では、本年度から新たに、風水害を想定した訓練として土砂災害や洪水を想定した訓練、また火山災害を想定した訓練として伊豆東部火山群が噴火したことを想定した訓練など、地域特性に応じた訓練の実施が指示されました。

当日の訓練は、各家庭でのシェイクアウト訓練、OK旗の掲出（掲出率は五一・二％）、各地区防災倉庫前での集合訓練を実施しました。防災倉庫の備品の確認や、小型消火器による消火訓練を行いました。



夢サポ（親和会敬老の集い）

伊東市の長寿ふれあい交流事業助成金を活用して毎年九月に開催しています。昼食会を挟んで、歌あり、体操あり、出し物ありの会です。



日帰りバスツアー

敬老会と同様、伊東市の長寿ふれあい交流事業助成金を活用、不足分は自費負担して、年に一度、日帰りバスツアーを実施しています。毎年変わる旅行プランに加えて車内の交流も楽しみなツアーです。

うたう会「夢の和」

プロの指揮者の明るく楽しいトークと指導のもと、ピアノ伴奏に乗って楽しく歌える会です。毎月第三土曜日、八幡野コミュニティセンターで午前一〇時から開催しています。

伊豆高原ウォーキングの会

この度、伊豆高原親和会のサークル活動に、ウォーキングの会が新たに加わりました。

この会の目的は、「歩くこと」です。歩くことは健康の第一歩、歩くことで身体の機能が向上され、視界が広がってきます。次に「人とのふれあい」です。いろいろな人とのふれあい、新たな自分を見つけることが出来るでしょう！そして「伊豆高原の魅力をもっと知る」です。知っているようでまだ知らない魅力、いろいろな自然や歴史が見えてきます。

第一回を、二月九日に実施致しました。コースは、親和会事務所をスタートして大室山を目指し、ひと廻りしてスタート地点に戻るコースです。多くの人の参加を期待したのですが、親和会二コースでのお知らせだけでしたので参加者は十二名でした。

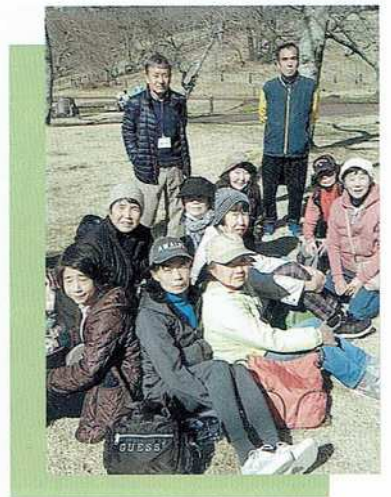
軽い準備体操をしたあと、十時三十分スタート。あいにく前夜降雪があり山焼きは中止となりましたが、天候に恵まれ晴れ渡った青空の下、そよ風に押されて十一時四十五分桜の里に到着。暖かそうな芝生の上でランチタイム、そのあと大室山の成

り立ちや大室山にまつわる伝説等の話をしました。

私たちは日々大室山の麓で大室山を眺めながら生活していますが、大室山は国指定の天然記念物、こんな素晴らしい山が近くにあることを余り実感していないという感想も聞かれました。



歩くだけでなく頭の体操も併せて行うということで、ハイクで俳句、用紙を希望者に配り、一句を詠んでいただきました。真っ白に覆われた富士山・南アルプス連峰など、素晴らしい景色を堪能した後、大室山を後にして「とっこん坂」を下り、子安地藏やとっこんさんの石碑を見ながら池の里へ、そして二時過ぎに管理事務所に無事到着しました。



※ハイクで俳句
めじろ鳴く晴れわたる空ハイキング

関村淳子

澄み渡る冬晴れのもと大室山

井上順子

春近しさくらの里に友つどう

小川たつこ

語らひつ大室山に春探す

内山和江

春を呼ぶ大室山に火炎立つ

丹羽忠昭

※参加者の感想

参加者が皆いきいきとしていた。よかった。また参加します。

穂田和男

池の古道を歩き知らない道が楽しかった。

西館トモ子

新しい知人ができて嬉しかった。花めぐり・庭めぐりとか今後、希望します。とっても楽しかったです。

和田千恵子

普段歩いていないのできつかった。参加者が12名でしたがもっと多いと活気があって良いと思います。

鈴木昭裕

もう少しご年配の方でも参加できる距離にして頂くと良いと思います。

鈴木ちづ子

知らない池の地区でもおもしろかった。もう少し短い距離でもよいのではと思います。

井上たか子

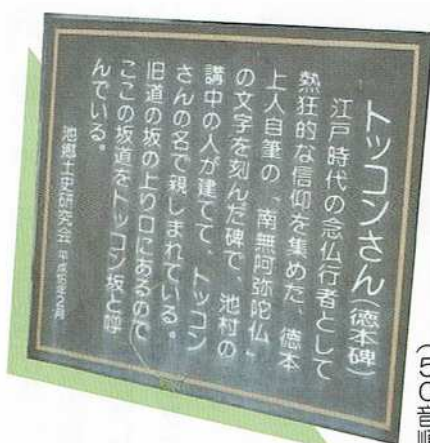
池の古道で、ポイントで説明があり、おもしろかった。もう少し短距離を希望。

粥川淳子

親和会。歩こう会。は、参加者の意見によって今後の活動を進めてまいります。多くの方の参加を期待しています。

スタッフメンバー 井上順子

小川たつこ 鈴木恵子 丹羽忠昭 (50音順)



親和会部会報告

総務部会から

役員会報告

(二〇一九年七月～十二月までの主な事項)

◎審議事項

- 伊東市と連携しての空き家対策
- ヤスデの駆除と蔓延防止策
- 道路補修の実施
- カーブミラーと街路灯の新設
- 浸透地等の樹木伐採工事
- 会費未納者対策
- 台風十五号による防災倉庫の被災
- はみ出し樹木の管理
- 顧問弁護士との契約
- 業務委託契約

◎報告事項

- 各地区連絡会報告
- 各部会活動報告
- 自主防災会活動内容
- 伊豆高原地域自治会連合会及び伊豆高原地域創生協議会活動報告
- 親和会会費納入状況及び月次収支報告
- 事務局活動報告



会費納入のお願い

親和会会員各位には、毎年会費納入にご協力頂き厚く御礼申し上げます。

ご存知の通り、親和会は会員皆様の会費により全て運営され、当地区内の道路及び側溝の補修、浸透地の維持管理、街路灯新設・整備、ごみ処分等、より良い住環境を整備するために使用されております。

ほとんどの会員の方は期日迄に納入頂いておりますが、一部の会員におかれましては、何らかの事情により期日迄に入金頂いておりません。

親和会規約にありますように、会員の義務として、また会員の公平性を期するためにも、会費納入へのご協力をお願いいたします。

2020年度

親和会総会のご案内

本年度の親和会総会開催は次の通りです。多くの会員の皆様のご出席をお待ちしております。

日時 2020年5月23日(土)

午後1時30分より

場所 八幡野コミュニティセンター
3階会議室

顧問弁護士契約について

これまで未納会費の請求については司法書士の協力を得て実施してきましたが、訴訟の場合は少額請求の制限があり、年間の訴訟件数にも制約があるなどの理由から、司法書士の先生からは弁護士に依頼した方がよいとのアドバイスを受けてきました。今回、会費請求の件に加えて、親和会業務にかかわる法律的事案に限定して、顧問契約を結んで弁護士に依頼することといたしました。

今回、請求訴訟等の民事案件の実務経験豊かな次の弁護士と顧問契約しました。契約後ただちに会費請求の案件依頼を行う予定です。(個別会員の事案は対象外です。)

東京都港区虎ノ門2-5-5

櫻ビル

阿部・吉田・三瓶法律事務所所属

福島 正洋 弁護士

道路部会から

二〇二〇年度の道路補修は、昨年と同規模の工事を行うために必要な予算を組んでいます。これまで伊東市からは、年間で八〇万円分の補助がありました。昨年、伊豆高原の

三自治会で構成する伊豆高原地域自治会連合会として伊東市に対して道路補修補助の増額や、市への道路移管の要請を行いました。また、補助が増額された場合はその分を工事増加分に回していきます。工事計画の策定や決定については昨年と同様のスケジュールで進めます。

親和会内の道路は建設以降大半が五〇年以上を経過しており、最近では親和会の総予算の三割程度を投入して補修に当たってきましたが、十分に補修しきれいていません。緊急性を要するところを優先しながら、地区毎の公平性をベースに、できるだけ会員の要望に応えられるように、工事計画を策定していきます。なるべく早期に工事を発注できるように、七月の地区連絡会では各地区の要望をまとめていただくようにお願いします。最終的には九月の役員会で道路補修案を審議し、十月以降工事を行っていく予定です。

また、側溝の傷みが目立ってきており、事務所の方でも個別に対処をしています。業者が発注しなければならぬ工事も増加しているため、これまで通り道路予算の一定額を割いて対処していきます。



大好評！年末餅つき大会

十二月十四日（土）、親和会事務所前広場で、恒例の年末餅つき大会を開催致しました。今回は、好天にも恵まれ、風も穏やかで絶好の餅つき日和、子供さんをはじめ多くの人が餅つきの杵を握り、三十五キロのお餅をつき上げました。

前回までとは若干メニューを変更しましたが、女性スタッフ手作りのあんころ餅、きな粉餅、いそ餅を提供、甘酒と豚汁がふるまわれました。予定よりも早く開始したこともありすが、お餅が人気を集め、お昼過ぎにはお餅が売り切れ状態になりました。同時に開催された池農業クラブの野菜市、豆州やまきの干物も好評でした。



来賓として、近隣の八幡野区の佐藤区長と役員の方々、池区の高橋区長をはじめ、中田県議、佐藤市議、田久保市議、篠原市議、杉本市議がご来場されました。参加者は、例年の倍にも達する三百名にのぼりました。

次回の予定は十二月十二日となりますが、会員の皆様が楽しく交流できる場としての餅つき大会を目指して、役員・スタッフ一同頑張っていきます。

人の輪で伊豆の暮らしを豊かに

親和会では、会員の自主運営で、趣味を生かした会員の交流の場づくりを支援しています。現在は左記に掲げた会が定期的に開催されています。多くの会員のご参加をお待ちしています。念のため事前に親和会ニュース等で毎月の実施状況をご確認ください。

親和会事務所会議室での集まり

☆絵手紙の会

毎月第2水曜日 午後一時半～

☆小物作りの会

毎月第2月曜日 午前十時～

☆パソコンサークル

毎月第1火曜日 午後一時半～

☆英会話サロン

毎月第1・第3月曜日午前十時～

伊東市老人憩の家での集まり

☆のんちゃんのいきいき呼吸練功体操

毎月第2金曜日 午前十時～

☆親和会囲碁クラブ

毎月第1・第2・第4火曜日 午前9時半～

東大室G・Gコースにて

☆グラウンド・ゴルフ会

毎月第二・第四火曜日午前十時～

このほかに、毎月第三木曜に親和会ゴルフ愛好会のコンペが催されています。

また、二月からは不定期ですが、伊豆高原の自然を楽しみ歴史を訪ねる「歩こう会」が開催されています。

各地区連絡会開催のお知らせ

第一地区～第四地区まで、開催日が異なります。地区によって開催時刻と開催場所が異なりますのでご注意ください。

第一地区 七月十八日（土）

午後一時三十分～

於：親和会事務所会議室

第二地区 七月十一日（土）

午後一時三十分～

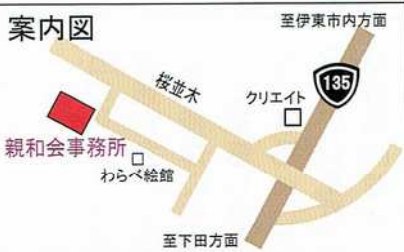
於：親和会事務所会議室

第三地区 七月二十五日（土）

午前十時～ 於：城ヶ崎憩の家

第四地区 七月二十五日（土）

午後一時～ 於：城ヶ崎憩の家



（広報部会）編集委員

市原 輝夫
藤尾 良久

徳本 政幸
山田 華恵

事務局

赤堀 益雄
井端 健